

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	千葉県住宅供給公社	県所管課	住宅課
代表者	理事長 富田 忠	電 話	043-223-3226
所在地	千葉市中央区栄町1番16号		
電 話	043-227-5161		
設立年月日	昭和40年11月1日		
ホームページ アドレス	http://www.chiba-kousya.or.jp		
事業内容	宅地分譲事業 賃貸住宅管理事業 県営住宅管理事業		

1 出資等の状況(H25.4.1現在)

(単位:千円,位)

資本金(又は出捐金)	10,000
------------	--------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	10,000	100.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H25.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体	県	
		市町村	
	国又は政府系機関		
	民間法人		
	その他		

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	22年度	23年度	24年度
総資産	41,042,133	40,043,205	38,588,096
負債	46,543,022	45,481,655	43,954,303
(うち有利子負債)			
純資産	-5,500,889	-5,438,450	-5,366,207
累積損益(利益剰余金)	-5,510,889	-5,448,450	-5,376,207

(2)損益計算書

(単位:千円)

項 目	22年度	23年度	24年度
総収入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	6,785,783	7,028,626	6,417,594
経常損益	-139,720	117,531	-265,574
当期損益	-86,740	62,440	72,242
減価償却前当期損益	182,599	333,269	342,404

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	22年度	23年度	24年度
借入金残高	42,000,220	40,596,921	39,193,622
うち県からの借入金残高	28,775,017	27,773,750	26,772,484
うち県以外からの借入金残高	13,225,203	12,823,171	12,421,138
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高			

※一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 純資産⇒正味財産合計

利益剰余金⇒一般正味財産

〈損益計算書〉 損益計算書⇒正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額)

経常損益⇒当期経常増減額

当期損益⇒当期一般正味財産増減額

※累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	22年度	23年度	24年度
委託料	県営住宅の管理委託など	2,042,343	2,064,124	1,983,633
補助金・交付金・負担金	特定優良賃貸住宅家賃補助など	442,605	447,449	451,588
合計		2,484,948	2,511,573	2,435,221

(2) その他

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	22年度	23年度	24年度
利子補給				
税の減免額				
出資金				
貸付金				
上記以外のもの				
合計		0	0	0

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	22年度	23年度	24年度
委託料のうち再委託したもの	消防設備等保守点検業務など	244,460	307,702	266,659
再委託のうち入札によるもの	消防設備等保守点検業務など	189,121	297,092	213,737
再委託のうち随意契約によるもの	エレベーター保守管理業務など	55,339	10,610	52,922

6 役職員の状況(各年度7月1日現在)

(1) 役職員数

(単位:人)

項目	23年度	24年度	25年度
常勤役員数	2	3	3
うち県退職者	2	2	2
うち県派遣職員	0	0	0
常勤職員数	77	73	72
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員	4	2	2

(2) 役職員の平均年収等の状況

項目	23年度	24年度	25年度
役員数(県派遣又は県OB)	2人(2人)	3人(2人)	3人(2人)
役員平均年齢	61歳	61歳	62歳
平均年収(千円)	8,034千円	7,783千円	7,711千円
職員数(県派遣又は県OB)	77.25人(4人)	73.25人(2人)	72.00人(2人)
職員平均年齢	46.20歳	46.47歳	47.16歳
平均年収(千円)	5,665千円	6,041千円	5,898千円

- ① 対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)
- ② 役職員数は実人員を記入してください。
- ③ 平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

※実人員の考え方

- ・4月に役員が4人いて、年度途中で2人交替し、年度末に4人であった場合の実人員は4人
- ・4月に役員が5人いて、10月から1人減り、年度末に4人であった場合の実人員は4.5人

※平成25年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	縮小
改革方針(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定調停(H17)の決定に基づき、分譲事業や賃貸住宅管理事業等を実施し、借入金の返済を行う。 ・主な保有土地については、概ねH30年度を目途に処分を終了し、借入金の返済にあて、新たな分譲事業からは撤退する。これに伴い、組織や必要な人員等の見直しを行う。 ・賃貸住宅管理事業を中心に事業継続することとし、特定優良賃貸住宅管理事業については、引き続き収支改善を図る。 ・県営住宅管理事業については、公営住宅法に基づく管理代行制度により事業を継続する。
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・中期経営改善計画(H23策定)に基づき、弁済原資の確保と債務履行に努めている。 ・保有土地の処分は、24年度末時点で計画面積の約8割であるが、売却収益は計画を上回っており、借入金の返済は確実に実行されている。 ・公社賃貸住宅管理事業は黒字基調だが、借上特定優良賃貸住宅管理事業は依然赤字であることから、フラット型家賃減額方式の導入などにより、入居促進に努めている。 ・県営住宅管理事業は、管理代行により27年度までの事業継続が可能となったが、更なる業務努力により、平成28年度以降の受託を目指す。
その他(特記事項等)	

* 平成24年3月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。